

No.8 地下埋設物の位置を正確に把握し、そして管理したい。

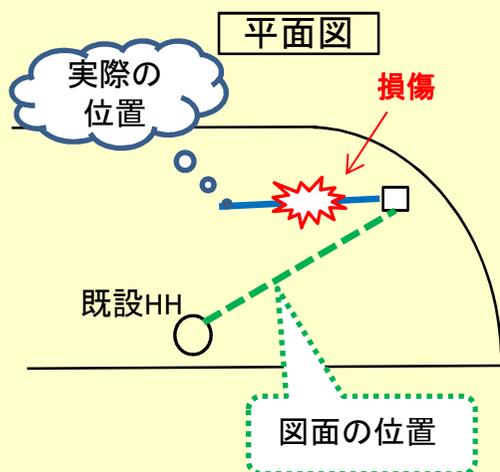
現 状

- ①地下埋設物の占用図面と現地での埋設位置が不整合。
- ②把握されていない地下埋設物の存在。
- ③沖縄の特殊事情(米軍道時代に埋設された占用物の存在)



- ①占用物の移設を事前に依頼するが、具体的な移設可能箇所が特定できないため、工事着手後の移設となり、工事が一時中止となる場合がある。
- ②電線共同溝工事等の地下空間を施工する工事で不明な管や図面と違った位置に埋設管が発見される場合がある。

地下埋設物に関わる事故事例



アースオーガー機械掘削



図面と既設埋設管の位置が異なっていた!



No.8 地下埋設物の位置を正確に把握し、そして管理したい。

ニーズの概要

- ①地下埋設物等、道路地下空間を正確に把握(電磁波レーダー等?)できる技術。
- ②道路地下埋設物の3次元データでの管理。

期待するシーズ

- ①道路地下埋設物を詳細な3次元データで管理できれば、工事着手前に移設が可能となり工事を計画的に進捗できる。
- ②試掘調査の頻度を減らすことが出来、費用も縮減できる。
- ③地下埋設物の損傷事故等のトラブルが防げる。

